

### 03.こども本の森



安藤忠雄氏が設計した子供の為の図書館は堂島川沿いの景観の良い場所に2020年開設された。中之島の駅からほど近い場所に佇んでおり、安藤氏の特徴でもある打ち放しコンクリートの外壁が通りに面し、エントランスは川を望めるよう階段で少し上がるアプローチとしていた。

地上2階地下1階の建物は大きな階段を中心に壁面を本棚で構成しており、子供主体の計画であることが随所に見受けられた。訪れた際には大階段で読書をする人や階段下のデッドスペース、大人が屈まないと入れない背の低いスペースでの読書をするなどの一般的な図書館でマナーとされる正しいスペースでの読書といった「ふるまい」とは異なり、各自が見つけたお気に入りの場所で本を読める許容さが際立っていた。

そうした空間が散りばめられていた延べ800㎡の小さな図書館の本棚は角が生まれにくいような配置やFBの手摺は子供が頭をぶつけないように配慮が施されていた。

この建物が町に愛されているのは単純に用途が特徴的だけではなく、気遣いと創造性をもった設計による表れではないかと感じた。

田中 宏幸